



順巻き施工で補強土壁を造成 HALUパネル(タイプJ)

【目次】

■ TOPICS：パネル式補強土工法「HALUパネル(タイプJ)」	P.2
■環境防災関連製品一覧	P.4
■お問合せ	P.4

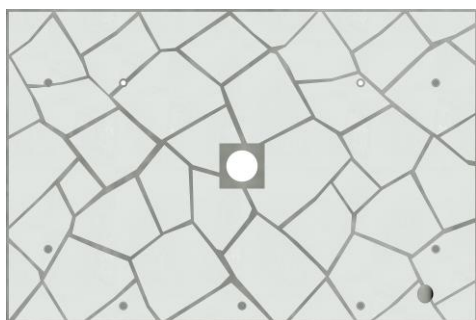
概要

逆巻き施工を標準とする「HALUパネル(タイプS)」に加え、新たに順巻き施工を標準とする「HALUパネル(タイプJ)」を開発いたしました。本製品は1段ごとに補強土壁を完成させながらパネルを積み上げていくため、タイプSでは施工が難しい災害復旧・擁壁の補強・盛土で適用できます。

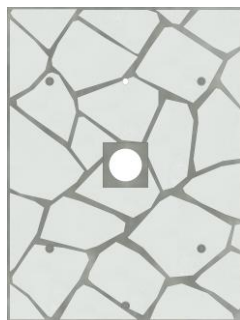
製品ラインナップ

製品ラインナップとして、縦1.2m×横1.8mのタイプJ(順巻・標準)、縦1.2m×横0.9mのタイプJH(順巻・ハーフ)、補強材を2本施工するタイプJW(順巻・2穴)の3規格があります。

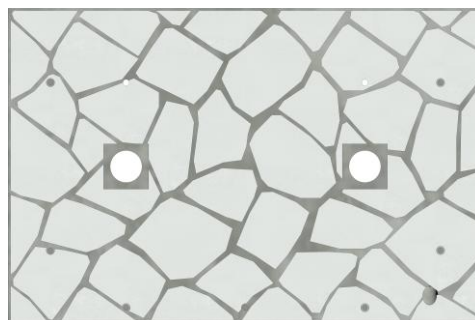
タイプJ
(順巻・標準)



タイプJH
(順巻・ハーフ)



タイプJW
(順巻・2穴)



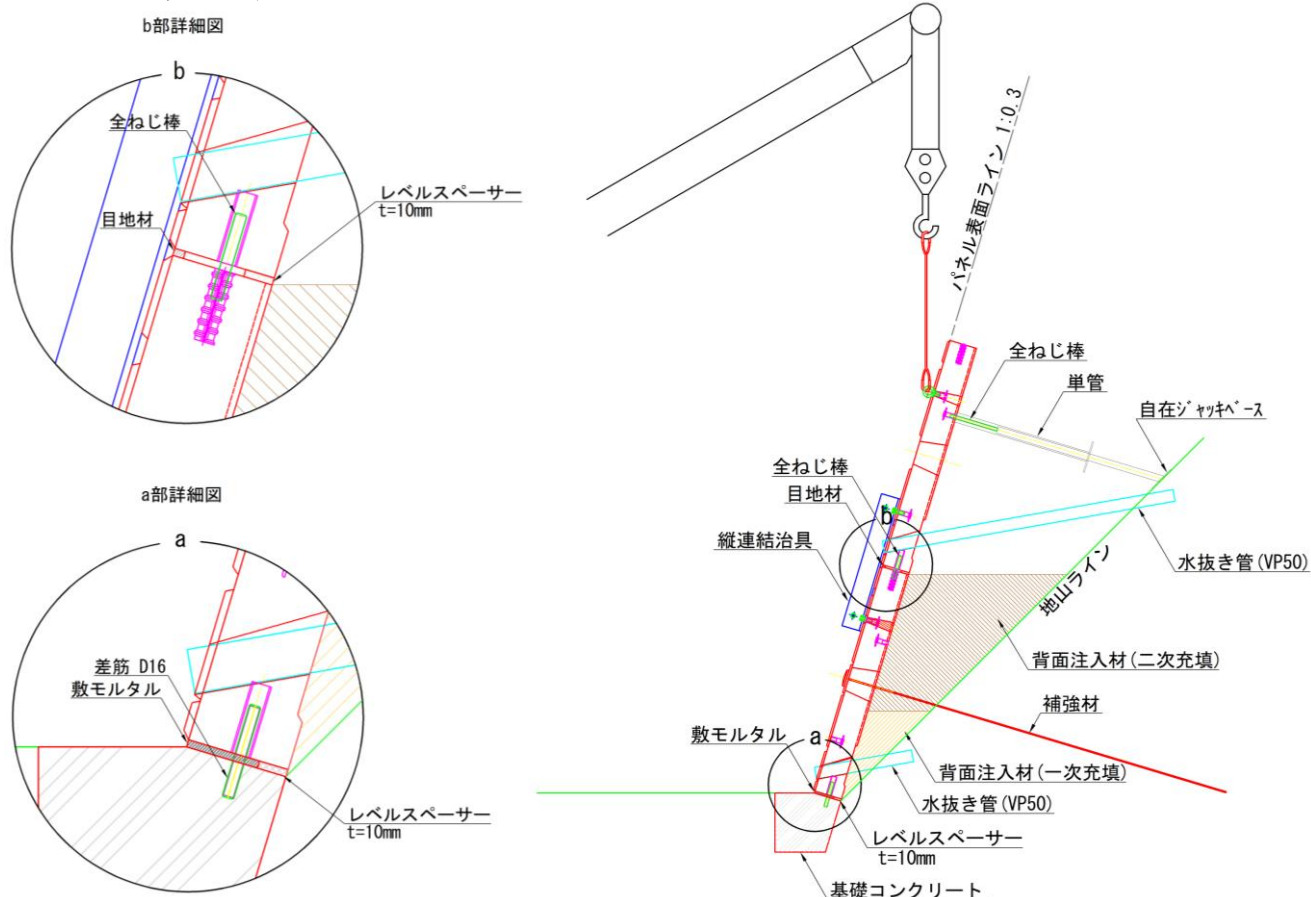
特長

- ① **品質管理の行き届いた工場製品**で施工が容易なため、**現場の省力化・工期短縮**が図れる。
- ② 1段ごとに補強土壁を造成していく施工方法のため、**施工時の安定性が確保**できる。
- ③ 補強材と併用して壁面を造成するため、擁壁と比較して**基礎の掘削土量を減らすことができる**。
- ④ HALUパネルの厚さが150mmと擁壁等に比べ薄いため**地山掘削時の土量を大幅に低減**することができる。
- ⑤ パネル据付後、背面注入材を用いてパネル背面と地山との空隙部分を充填するため、**地山の形状を問わず施工が可能**である。
- ⑥ 上下連結の位置を半分ずらすことにより、千鳥配置が可能である。
- ⑦ HALUパネル表面は自然に溶け込む擬岩模様を採用し、景観に配慮している。

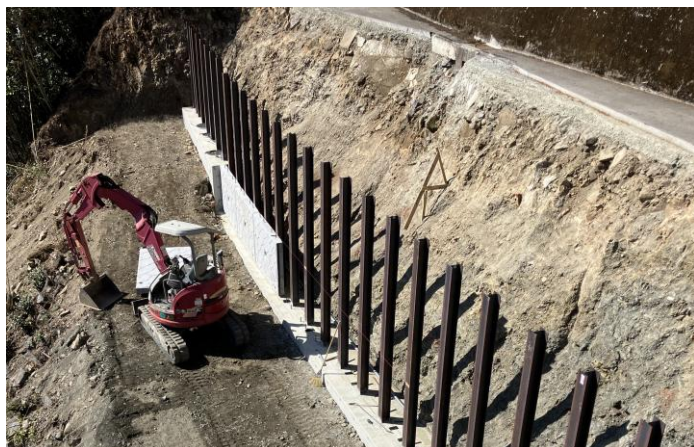
施工方法

設置面に基礎コンクリートを打設し、位置合わせ用の差筋とレベルスペーサーを据付します。HALUパネル底面の差し込み口に差筋を挿入することで所定の位置にHALUパネルの設置が可能です(a部詳細図)。下図のように勾配がある場合は、単管と自在ジャッキベースなどで背面への転倒を防止します。注入材、補強材を造成し、1段目の施工を完了します。

2段目HALUパネル設置時は、1段目HALUパネル天面のインサートに全ねじ棒を取り付け、1段目同様HALUパネル底面の差し込み口に挿入することで、2段目HALUパネル設置時の位置合わせが容易になります(b部詳細図)。



施工事例(福岡県)



※ 本現場はHALUパネル設置背面にH鋼を建込み、据付を容易にしています。

■ 環境防災関連製品の紹介 ■

斜面安定・地すべり対策



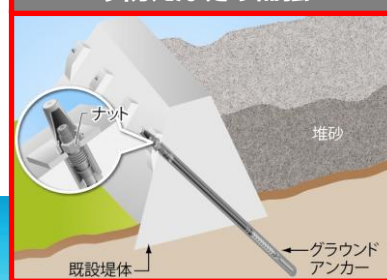
【アンカー+KIT受圧板】

地山補強土壁工



【HALUパネル】

砂防えん堤の補強



【砂防堰堤補強アンカー】

盛土の耐震補強



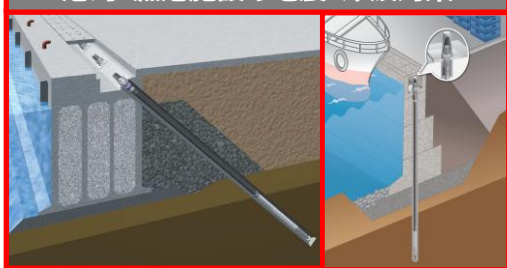
【タイプル】

災害復旧時の仮締切り



【タイプル】

港湾・漁港施設の地震・津波対策



【港湾用補強アンカー】 【漁港用補強アンカー】

港湾・漁港施設の整備



【タイプル】

港湾・漁港の外郭施設の補強



【岸壁・護岸補強アンカー】

維持管理技術



【見えるアンカー】

【SEEE荷重計】

【SE-Galo】

各種製品、工法の詳細はこちら

⇒ [環境防災事業分野カタログ一覧](#)

【お問合せ】

本メルマガに対するご意見やご要望は、下記までお気軽にご相談ください。
また設計検討に関する問合せや資料請求も下記までご用命ください。

- 株式会社エスイー 環境防災部
- 問合せ専用ページ
- 株式会社エスイー
- 環境防災部

エスイーネットショップ

右記リンクからご注文いただけます。

TEL:03-5321-6515 / FAX:03-5321-6519

<https://se-kankyobosai.jp/contact>

<https://www.se-corp.com>

<https://www.se-kankyobosai.jp>

<https://senetshop.com/>